

ユビキタスセンサーネットワーク技術に関する調査研究会 ワーキンググループ（第2回） 議事要旨

1 日時

平成16年4月15日（木）14：30～16：30

2 場所

三田共用会議所 国際会議室

3 出席者

（1）調査研究会構成員（50音順、敬称略）

新井正伸、石田建一、石田良英、金枝上敦史（代理）、井上泰一、植山公助、緒方司郎、尾崎文夫、落合秀広、和辻徹（代理）、小林真輔（代理）、斉藤市郎、岸本太郎（代理）、佐藤祐一、杉本和敏、須藤茂男、谷沢広之（代理）、山田勇（代理）、戸辺義人、中井敏久、西史郎、野口哲、久米田康夫（代理）、大橋正良（代理）、大門豊（代理）、星義隆、行田弘一（代理）、松田耕一郎、松野浩樹、三田彰、森川博之、矢野和男

[オブザーバ]

大橋文彦（代理）、後藤賢二、下坂弘（代理）、石田泳（代理）

（2）事務局（総務省）

武井技術政策課長、竹内研究推進室長

4 議事次第

（1）開 会

（2）議事

ユビキタスセンサーネットワーク技術を利用したアプリケーション・サービスの現状と今後の展開について

資料WG 2 - 2、3、4、5、6、7に基づき、ユビキタスセンサーネットワーク技術を利用したアプリケーション・サービスの現状と今後の展開について、尾崎構成員、石田構成員、三田構成員、落合構成員、佐藤構成員、星構成員よりプレゼンテーションが行われた。

アンケートの実施について

事務局より、ユビキタスセンサーネットワークの将来イメージに関するアンケートについて、資料WG 2 - 8に基づき、説明があった。

（主な意見は以下の通り）

現在からもう一つの想定時期である2010年まで6年間あるので、2段階に分けるために便宜的に2007年とした。

ビキタスセンサーネットワークとはユビキタス社会の中で実現が期待されるセンサーネットワークということだが、特に要件は決めていない。「ユビキタス」自体が新しい概念で、これからのものである。この場で概念を醸成すればよい。

センサデバイスについても将来的なシステムの実現に新しいセンサーが必要なときは、センサーの技術を提案していただいてよい。

既存のシステムとの違いを意識しながらまとめたり、アプリケーションに依存しない基本的なシステム構成モデルを考えることが重要。

(3) 閉会

5 配布資料

- 資料 WG2-1 ワーキンググループ(第1回) 議事録(案)
- 資料 WG2-2 ビルディングオートメーションの IPv6 化と安全な自律設定の検討(尾崎構成員)
- 資料 WG2-3 住宅におけるセンサーネットワークを利用したアプリケーション(石田構成員)
- 資料 WG2-4 センサネットワークとサステナブル構造システム(三田構成員)
- 資料 WG2-5 センサーネットワークを利用したアプリケーションの開発取組み(落合構成員)
- 資料 WG2-6 センサーネットワークを利用したアプリケーション(佐藤構成員)
- 資料 WG2-7 NTTドコモのセンサー関連事業(星構成員)
- 資料 WG2-8 ユビキタスセンサーネットワークの将来イメージに関するアンケートについて
- 参考 WG2-1 ワーキンググループ(第1回) 議事要旨(案)

(以上)